

はじめに 天下分け目の「草内・飯岡の戦い」……………011

―天正十年五月十二日―三河国岡崎出発●家康上洛と信長の政権構想……………018

◆家康の安土参勤と上洛◆「織田・徳川兄弟同盟」と「東西複合国家体制」

◆「織田・徳川同盟」の成立と展開◆「三方ヶ原の戦い」と「織田・徳川同盟」

◆松平信康と「織田・徳川同盟」◆佐久間信盛の追放と「織田・徳川同盟」

◆家康の初上洛と信長◆信長の「武家官位制」の創出と太政大臣

◆「織田・徳川同盟」と「武家官位制」◆家康と足利幕府◆三河守と左京大夫

◆正親町帝と信長◆後醍醐帝と正親町帝◆正親町帝と法華(日蓮)宗徒四人組

◆正親町帝の関白・信長構想◆「源平合体」と「織田・徳川同盟」

◆家康の秀吉への臣従と条件闘争◆「織田・徳川同盟」から「徳川・織田同盟」(幕藩体制)へ

―五月十五日―近江国安土●粉飾の天下人・織田信長の落日……………070

◆砂上の楼閣◆信長の畿内支配と「織田・明智体制」

◆歴史家の教科書『日本歴史大系』と「本能寺の変」◆安国寺恵瓊と『吉川家文書』六一〇

◆惟任日向守邸「御成」計画の頓挫◆惟任日向守光秀の正体◆「足軽衆」と明智光秀

◆明智光秀出現時の地位◆地に落ちた信長の権威◆秀吉からの泥船

―六月一日昼―和泉国堺●千宗易(利休)の茶会断念と津田宗及……………097

◆家康主従の堺入府◆津田宗及の茶会◆織田信忠の堺訪問中止と千宗易(利休)の無念

◆信忠の清水寺能会の波紋◆信忠の名代「杉原殿」◆杉原家次と家康の「西国出陣」

―六月二日朝―和泉国堺●家康主従「死出の上洛」……………112

◆「堺起点・大和越え説」と「飯盛山起点・伊賀越え説」◆「堺起点・伊賀越え説」

◆塞がれていた逃走経路◆知恩院で腹を切るとの決断

―六月二日午前―山城国西岡●明智軍家康襲撃部隊の遅参……………122

◆家康主従襲撃部隊の編制◆家康襲撃部隊と西岡国人◆家康襲撃部隊の総大将は誰だったのか

◆「惟任(明智)合体の侍」◆長岡(細川)藤孝のアリバイ◆長岡(細川)藤孝と三人の分身

◆陰謀の巢窟「里村紹巴の連歌会」

―六月二日昼―河内国飯盛山●本多忠勝の橋本素敵と「伊賀越え」……………142

- ◆橋本へ向かった本多忠勝◆飯盛山(四条畷)の軍議◆「津田」とは誰か
- ◆追いかけてきた津田宗及

―六月二日昼下り―山城国草内●木津川渡河作戦と影武者・穴山梅雪……………152

- ◆影武者・穴山梅雪と殿・高力清長◆穴山梅雪の立場と決意◆穴山梅雪最期の戦い
- ◆武田家再興と「草内の誓い」◆木津川渡河と本多忠勝の勲功◆増水した木津川
- ◆小荷駄奉行・高力清長◆逃げ切った家康

―六月二日夕刻―山城国飯岡●筒井順慶と明智方大和武士……………171

- ◆石原源太とは何者か◆光秀と石原監物入道◆十市新二郎と吉川主馬・次大夫親子
- ◆筒井順慶の家康主従救援計画◆吉川親子の草内急行
- ◆筒井順慶と津田宗及◆筒井順慶の選択◆六月二日前後の筒井順慶
- ◆羽柴秀吉と筒井順慶◆筒井順慶の早世と大和

―六月二日闇夜―帝都●「複合謀反」―羽柴秀吉・長岡藤孝の共謀……………194

- ◆「駕籠の鳥」の秀吉◆杉原家次の備中国高松帰陣◆羽柴・小早川単独講和
- ◆恵林寺焼き討ち事件◆川尻秀隆の軽拳妄動◆家康の光秀追討作戦と本多信俊殺害事件
- ◆秀吉の代理人、信忠側近・前田玄以◆信長・信忠親子の亀裂◆信忠の介錯人の逃亡
- ◆織田信澄の冤罪◆秀吉の信澄殺害教唆◆小早川隆景の情報操作
- ◆光秀の信澄追い落とし計画◆秀吉の「起請文」◆正親町帝のモグラ・細川藤孝
- ◆將軍の落胤 細川(長岡)藤孝と三條西実澄◆二つの『兼見卿記』と検使・津田越前入道
- ◆吉田兼見の供述と連歌師・里村紹巴◆天正十年六月二日の長岡(細川)藤孝
- ◆將軍京都不在の天正年間

おわりに 家康の戦いとマキャヴェッリの格言……………249

主な登場人物と本書での役割……………252

各々の幕進ルート……………258

主要参考文献……………260

あとがき……………273